



セクハラって、どんな言葉？行動？

身体的特徴を話題にする	性的な“からかい”や冗談、噂話をする
個人的な性的体験談を話す、相手に聞く	お酒のお酌やカラオケでデュエットを執拗に誘う
食事やデートに執拗に誘う	あいさつ代わりに肩に触れる
身体をじっと眺める	雑誌のヌード写真を他人に見せる

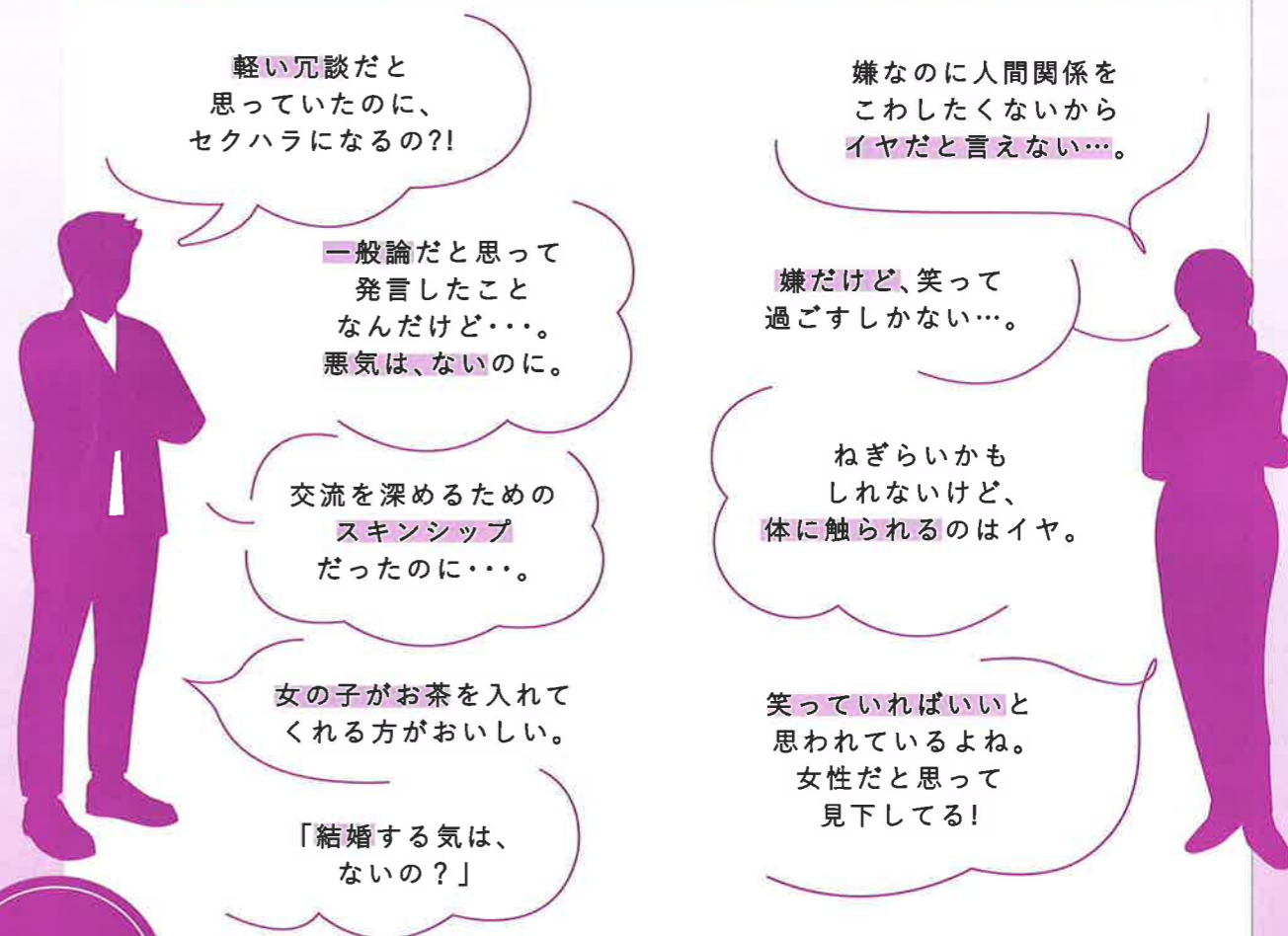
「家族を養うのは男の役目」「この仕事は女に任せられない」「子どもは母親が育てるべきだ」などと言う

出所:財団法人 人権教育啓発推進センターの資料を参考

これらの言動や行動は男性から女性に対するものだけに限らず、女性から男性、男性から男性、女性から女性、LGBT(性的少数者)に対してもセクハラとなります。



あなたは、どのくらいセクハラについて、知っていますか?!



判断のポイント

セクハラは、受け手が「不快に感じたかどうか」

男女雇用機会均等法上のセクハラに該当するかどうかの判断は、受け手の主観を重視しつつも一定の客観性が必要となります。法律に規定されている要件を満たし、一般的にはどう受け取られているかという客観的な基準によって判断されるのです。

しかし、本人の意に反する身体的接触や言動などによって強い精神的な苦痛を被った場合などは、本人の気持ち(精神的な被害の程度)に配慮し、セクハラと判断されることもあります。

セクハラの根底には

「男は仕事、女は家庭」などのように性別を理由とした役割を固定的に分ける考え方、「固定的役割分担意識」があるといわれています。社会的に作られた「女性より男性の方が優位」といった意識も大きく影響しています。



分かっているようで、分かっていないセクシュアルハラスメント(セクハラ)?!